

■ 社会福祉法人 赤城会

ふ れ あ い

発行日
令和4年1月1日
第55号

■ 発行所 社会福祉法人赤城会 渋川市赤城町津久田194-19 ■ 発行人 今成千鶴子 ■ 印刷所 松本印刷工業(株)



記事 P4

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます



年頭の挨拶

しきしま学園・しきしま施設長

狩野
英伸

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は赤城会の障害児・者支援事業に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。心から御札を申し上げます。

さて、二〇二二年は、精神薄弱児収容施設しきしま学園が「恵まれない知恵おくれの子らに愛の手を」という人間愛に燃えた運動により、善意の人たちの力で誕生してから今年六十周年の記念の年であります。又、今年の干支は「壬寅」です。干支は六〇年で一巡するため、しきしま学園が生まれた年の干支も今年と同じ「壬寅」でした。壬寅には、「新しく立ち上ること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起の良い意味があるそうです。

折しも最近よくSDGsという言葉を耳にするようになりましたが、日本で二〇一六年十二月二十二日に実施指針が決定されたSDGsが目指すものは「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」です。

赤城会の運営する事業所も、高齢化と障害の重度化が進む中で、障害福祉のニーズはますます複雑多様化しており、障害のある人もない人も相互に人格と個性を尊重し合い、共に支え合いながら暮らすことができる「地域共生社会の実現」はSDGsと創立の精神に合致します。新たな視点に立ち、多くの関係機関や地域の方々と連携・協働を図り、社会福祉法人としての責務を果たし公益的な取り組みを行つていただきたいと考えております。

最後になりますが新型コロナウィルス感染症が確認されてから二年がたち、この年末始はオミクロン株による急速な感染拡大が想定されています。三回目のワクチン接種の前倒しが図られていますが、これまで同様三密を避け、マスクの着用、こまめな石鹼での手洗い・手指消毒、換気を行い安定した事業の継続を図つていきたいと思つております。皆様と笑顔で触れ合える日が一日も早く来ることをお祈りするとともに、皆様のご健勝とご発展をお祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

あかぎ育成園

お 楽 し み 会



今年度も新型コロナウイルスの影響で秋の旅行が中止になり、それに代わる行事として昨年度と同様にあかぎ育成園多目的ホールにて「お楽しみ会」を開催しました。午前の部は利用者さんは映画観賞をしていただき、その間に職員は昨年好評だったカレー作りと、もっと食事を選べる楽しさを感じてほしいとの思いで焼きそば・たこ焼きも作りました。昼食はカレー・焼きそば・お弁当と用意さ

せていただき、食べていただきました。皆さん美味しそうに食べている姿がとても印象的でした。午後の部はカラオケ大会を行い、歌をうたつたり踊つたりと利用者さん全員が楽しむことができました。午短い時間でのお楽しみ会となりましたが、ほんの少しでも利用者さんが楽しいひとときを過ごせたことは本当に良かったと思います。

もみじ祭り

十一月十一日、『もみじ祭り』を行いました。

例年なら模擬店を行い、普段なかなか地域の商店を利用することができ難しい利用者さんにも買い物を楽しんでいただく良い機会となり、自分の好きなジュースやお菓子・カップラーメンを購入され笑顔もたくさん見られるはずでしたが、今年はコロナウイルス感染対策から職員がケーキを購入し、各班で食べていただきました。秋らしいケーキをとことで、モンブランや秋のフルーツが乗ったケーキを用意し、利用者さんに選んで食べていただきました。皆さん、美味しそうに食べている姿がとても印象的でした。例年どおりではありませんが、利用者さんに「ありがとう」「美味しかった」と言つていただけて大変嬉しかったです。

クリスマス会



コロナ禍の中、利用者さんには何かと我慢していただく生活が続いている事と思います。少しでも楽しめる行事をと思い、今年度も「クリスマス会」をあかぎ育成園多目的ホールにて開催しました。例年では市ボランティアの方をお呼びし、歌や音楽を楽しんでいたいきたかったのですが、新型コロナウイルス感染対策の為職員によるレクリエーションを計画しました。男性職員は職員対抗の簡単なゲームで対戦し、利用者さんは職員を応援していただく形で楽しんでいただけたと思います。女性職員はトーンチャイムで「きよしこの夜」「いつも何度も」「遠い日々」の三曲を演奏しました。利害使用者の中には音に合わせて歌っている方もいらっしゃったのでとても楽しんでいる様子でした。最後に各班代表の利用者さんにクリスマスプレゼントを渡しました。その後おやつにケーキとジュースを食べていただき、短い時間でしたが利用者さんの笑顔が多く見られたクリスマス会になりました。

いいづかストアー

代表 飯塚 茂

TEL (0279) 56-8355

群馬県渋川市赤城町樽301-5



し き し ま

ち ぎ り 絵



みのり班では様々な「ちぎり絵」を作成しました。下絵を描いて、色紙を細かくちぎつて張り付けてもらいました。それぞれ個性豊かに動物や花を表現した作品となりました。

また、本館二階の利用者さんの写真をもとに似顔絵を作成しました。皆さんの顔の特徴をとらえた力作となりました。

完成した作品は、廊下の壁に飾りました。白い壁がとてもカラフルになりました。施設の中で過ごす時間が長くなっていますが、明るく楽しい空間になつたと思います。これからも楽しく創作活動を続けていきたいと思います。

調 理 実 習

クリスマス会



さくら班では、十二月二十日に調理実習を行いました。「しきしま」で採れた大根や人参、ネギなどの冬の野菜を使用し、寒さに負けない温かい「豚汁うどん」を作りました。この日は天候に恵まれた為、園庭にテーブルを出し、みんなで豚汁うどんを食べました。大きな鍋がテーブルの上に置かれるとおいしそうなにおいに引き寄せられ、利用者さんの表情がぱっと明るくなりました。「おいしい」という声が聞こえ、お代わりをする利用者さんが何人もいました。皆さん大喜びし一人ひとりプレゼントを嬉しそうに受け取っていました。全員がプレゼントを受け取った頃おやつが始まりケーキとジュースが用意され、昼食同様に皆さん美味しそうに頂いて楽しい一時を過ごしました。



あおぞら班では、コロナ禍という事で昨年同様、班ごとに「クリスマス会」を行いました。昼食にはお寿司やチキンが用意され普段はなかなか食べることが無いので皆さん喜んで美味しそうに食べていました。

「クリスマス会」が始まり施設長サンタさんが登場すると皆さん大喜びし一人ひとりプレゼントを嬉しそうに受け取っていました。全員がプレゼントを受け取った頃おやつが始まりケーキとジュースが用意され、昼食同様に皆さん美味しそうに頂いて楽しい一時を過ごしました。

群馬県渋川市赤城町津久田 223-16

株式会社敷島堂

青木 健治

TEL 0279(56)2326・Fax(56)2327

赤城橘農業協同組合

群馬県渋川市赤城町滝沢64-2

TEL 0279-56-4151

FAX 0279-56-4152

せせらぎグループ

かわせみホームの紹介

平成二十二年六月一日、渋川市赤城町の一般住宅を借用し、介護サービス包摺型グループホームとしてかわせみホームは開所しました。当時、地域の中で一人の住民として生活を希望する『あかぎ育成園』の利用者五名が、かわせみホームに生活拠点を移し新たな生活を始めました。かわせみホームで生活する利用者は、比較的年齢が高く人懐っこい性格の方ばかりで、地域の一員として隣近所の方と関わりを持ち、普段から笑顔で挨拶を交わし、顔見知りの自然な付き合いを実現しています。

ホームでの生活は、全個室でプライバシーが保たれ、世話人や生活支援員が日常生活の援助をしています。中でも利用者に提供する食事は手作りを心がけ、健康面に配慮するとともに利用者の希望を取り入れ、温かい家庭的な良い関係が結ばれています。また、一人ひとりが自由に時間を使つて散歩や制作活動を楽しむ他、『あかぎ育成園』の生活介護やデイサービス

を利用し、休みの日には、庭の小さな畑でネギやジャガイモなど自分たちで食する野菜を作っています。

にやりほつとでほっこり

昨年度から、日々の生活における利用者の笑顔と職員の小さな気づきとして、せせらぎグループでは実践を通じ『にやりほつと』を見つけ記録しています。自然に笑みがこぼれ癒やされる『にやりほつと』は、共に笑顔になれる場面で気持ちを共有させ、利用者を理解すると同時に職員自らの支援を実感する良い機会となっています。

【Kさんの独り言に「にやり」】

Kさんが、今まで使っていたテレビのリモコンに「リモコンさん、今までありがとうございました。さようなら。」と声をかけ捨てていました。

てその内容や対処後の苦情解決結果について報告をするものです。今年度の受付は「しきしま」の二件でした。内容は事業所から雑草の蔓が敷地まで伸びてくるので対処してほしいとの要望でした。

もう一つは、近隣のお宅から建物のベランダ屋根が老朽化し破片が飛んで来るので対処してほしいとの要望でした。すぐに謝罪に伺い業者さんを手配し修理しました。

第三者委員さんから、現在のコロナ禍の中での利用者支援について質問があり事業所での新型コロナウイルス対策についてご説明をさせていただきました。委員さんは職員も厳しい状況ではあると思うが利用者さんが安心して生活できるよう頑張つてほしいとの励ましの言葉をいただきました。

第三者委員さんからの、運営や支援についてのご意見を、今後の事業所運営に生かしていきたいと思っています。

編集後記

令和三年度渋川市 優良事業所表彰

今年度、社会福祉法人赤城会の経営努力や経営改善及び雇用の積極的な推進等に尽力した功績が、渋川市に優良事業所として認められ、令和三年十一月十七日二時より渋川市役所第二庁舎会議室において表彰状が授与されました。赤城会がこの表彰を受けるのは平成二十七年に統いて二回目の受賞です。

委員会を十一月八日に本部会議室で開催いたしました。各事業所で一年間に受け付けた苦情等につい

